

沖縄県における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：仲村秀太（琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学¹）
研究協力者：新里尚美（沖縄県感染症診療ネットワーク・コーディネーター¹）
玉城裕貴²、宮城京子³、前田サオリ³、山本和子¹
(1. 琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学、
2. nankr 沖縄、3. 琉球大学病院・看護部)

研究要旨

研究Ⅰ：クリニック検査の促進に関する研究

研究背景と目的：新型コロナウイルス感染症パンデミックの影響で県内保健所における HIV 検査数は激減した。そのため、保健所に替わる新たな検査提供体制の整備が急務である。本年度は、民間医療機関において HIV・梅毒検査を実施し、HIV 検査を希望する MSM のニーズアセスメントと検査促進を行うことを目的とした。

研究方法：HIV・梅毒検査を希望し、かつ男性と性行為を行う男性（Men who have sex with men、以下 MSM）と自認する者で匿名アンケート調査に同意した者。県内 5 つの民間医療機関における対面検査：対象期間 2022 年 7 月 4 日～7 月 30 日（受付期間 2022 年 6 月 27 日～7 月 30 日）、受検者負担：1000 円とした。本事業の専用予約サイトでアンケート回答をした者へ ID 番号発行し、その後の予約、検査、結果すべてを ID 番号で行う匿名性が担保された HIV 及び梅毒検査を実施した。広報は検査実施期間の 1 か月前より、ゲイ向けアプリを主軸に、SNS、沖縄県ホームページ、nankr 沖縄のホームページ及び、県内新聞社の取材を通じて広報した。

研究結果：募集枠 50 人に対して、46 人の応募があり、最終的には 25 人が受検した。アンケート回収率は 97.5% (78/80) であった。65% が那覇市以南の居住者であった。初回検査歴は 11% であった。PrEP（プレップ）経験者は 10% であった。スクリーニング検査結果は HIV 陽性 0 件、梅毒は 0 件であった。

考察：本島中南部を中心に検査受検者が同じく中南部の医療機関での検査希望を示した。特定の医療機関での検査希望が突出して多く、交通の利便性がその要因として考えられた。コ

コロナ禍において保健所の代替として民間医療機関が HIV 検査を安定的に提供できる場として示された一方で、初回検査受検者の割合は少なく、このグループへの検査アクセスを高める対策が必要だと考えられた。PrEP への関心は高く正確な情報提供と同時に HIV 検査の動機づけにも活用できると考えられた。

研究Ⅱ：郵送検査の促進に関する研究

総計 210 キットを配布した。アンケートに回答したものは 150 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 153 名であった。そのうち 98.0%が結果にログインしていた。HIV 陽性件数は 3 件、梅毒の陽性件数は 31 件（既感染も含む）であった。検体を郵送したもののうち 25 名はアンケート結果との連結に同意していた。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつ ID 連結の同意を得た 25 名においては、30 歳未満が 24.0%を占め、沖縄県の居住者が 92.0%であった。生涯初の検査経験割合は 20.0%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 56.0%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 44.0%を占めた。新規の HIV スクリーニング陽性率 2.0%、梅毒は推定スクリーニング陽性率 18.3%であり、感染リスクの高い層にリーチしていると考えられる。したがって、陽性になった場合の受診行動の促進への取り組みも重要である。

研究Ⅰ：

クリニック検査の促進に関する研究

A.研究目的と背景

COVID-19 の影響により、沖縄県内でも保健所における HIV 検査件数が激減した。その一方で 2021 年における HIV/AIDS 患者数は人口 10 万人あたり全国ワースト 1 位であり、HIV 検査の中止、縮小が続く沖縄県内の保健所に代わり、民間医療機関等を活用した HIV 検査の提供体制を整備することは喫緊の課題であった。そこで、HIV 感染者の 97%を占める MSM を対象とし、匿名性を担保した上でアンケートを実施、収集、解析することにより、保健所代替機関として、民間医療機関がなり得るための必要な要因を調査することを目的とした。

B.研究方法

沖縄県内の 5 カ所の病院・クリニックにおいて、MSM を対象とした性病検査 (HIV、梅毒) を行った。研究対象者の募集は、専用サイト、ゲイ向けアプリ、SNS 等を用いた。

受検希望者は専用サイトにアクセスし、匿名アンケート回答後に自動返信メールにて ID 番号を取得させた。冒頭に研究の説明とエントリー基準を設け基準は下記のように設定した。

- ① 18 歳以上の者
 - ② MSM を自認する者
 - ③ 研究期間中に性感染症検査を希望する者
 - ④ アンケート回答、提出に同意できる者
- これらを満たした者にクリニック・病院の予約、受付時に必要となる ID 番号発行し、検査日には ID 番号を提示し、研究対象

者は 1,000 円で性病検査を受けることができるとした。

C.研究結果

1,アンケート結果

Q1.受験者の年代 (n=46) (図1)

30代が20人(43%)と最も高く、次いで40代13人(28%)、20代9人(20%)、50代3人(7%)、60代1人(2%)であった。

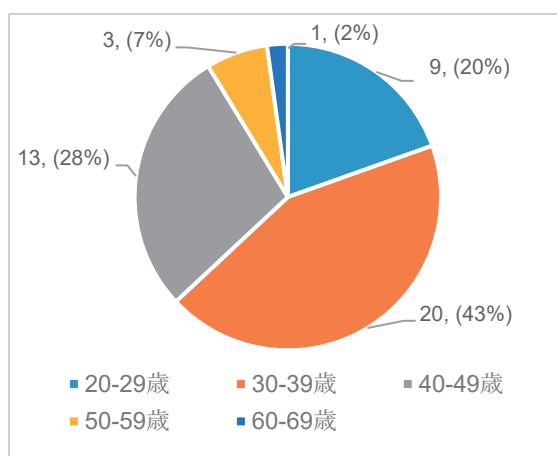


図1 受験者の年代割合

Q2.自認する性別 (n=46)

男性：46人(100%)

Q3.国籍 (n=46)

日本：46人(100%)

Q4.居住地 (n=46)

那覇市が44%と最も多く、本島中南部地域居住者が95%以上を占めた。選択肢には本島北部、離島も含めたが、希望者はいなかった。

医療機関Bへの受診希望が幅広い地域から認められた。

表1 受験者の居住地

那覇市	20 (44%)
沖縄市	5 (11%)
それ以外の沖縄県内の中部地域	5 (11%)
浦添市	4 (9%)
宜野湾市	4 (9%)
豊見城市	3 (6%)
それ以外の沖縄県内の南部地域	3 (6%)
うるま市	1 (2%)
その他	1 (2%)

表2 居住地と希望医療機関の相関

	A	B	C	D	E
那覇市		15	3		2
浦添市		2	2		
豊見城市		2			1
それ以外の沖縄県南部地域		2			1
宜野湾市			2	1	1
沖縄市	1		1	2	1
うるま市		1			
それ以外の沖縄県内の中部地域	1	1	1	1	1
その他		1			

Q5. 希望医療機関を選択した理由 (n=46)

(図2)

「公共交通機関の利便性」、「駐車場の有無」と回答した者が9名で最も多く、次いで「徒歩圏内」、「対応曜日の広さ」が7名だった。

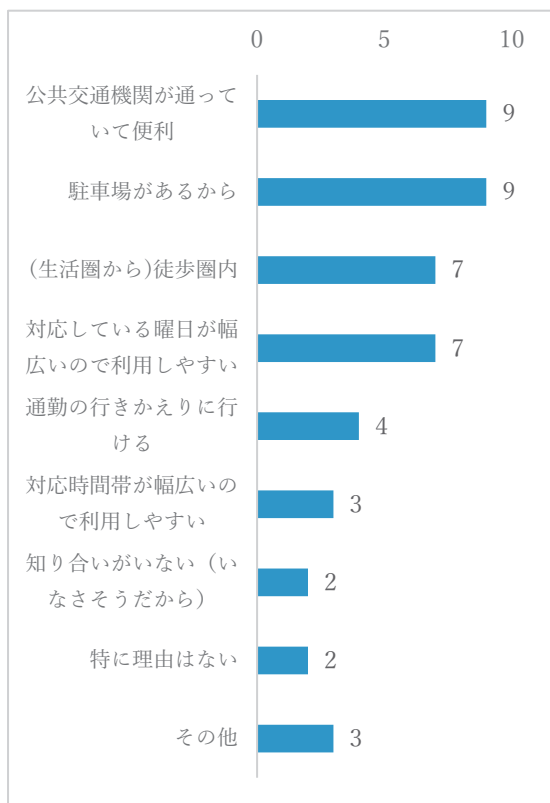


図2 希望医療機関を選択した理由

Q7.過去1年間に受けたことのある検査機関（複数回答可）（図4）

HIV 検査受検の場として保健所が最も多かったが、クリニックや病院など無料匿名が担保されない施設での検査も多く認められた。また、郵送検査利用も明らかになった。

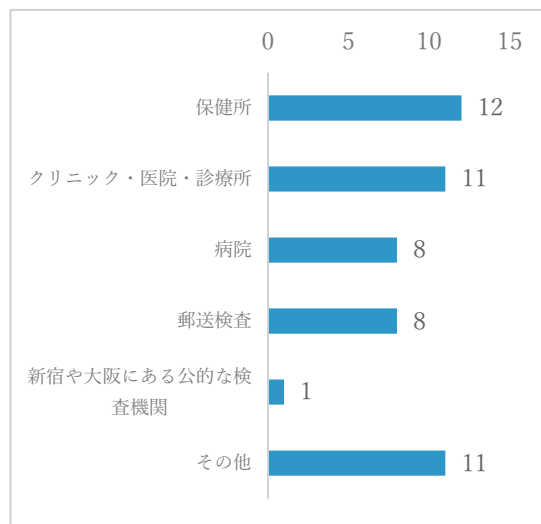


図4 過去1年間に受けた検査機関

Q6. HIV 検査歴（n=46）（図3）

有：41人（89%）、無：5人（11%）。今回が初めての検査となったのは5人（11%）で20歳代1人、30歳代2人、40歳代2人という内訳であった。

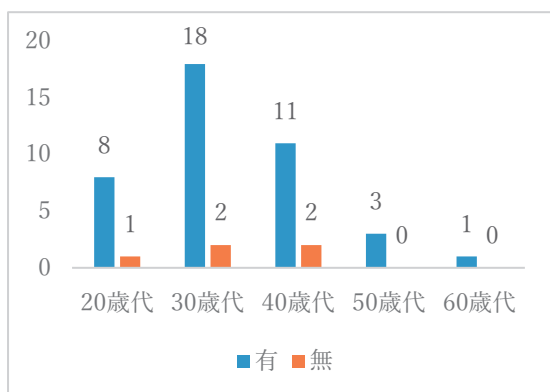


図3 年代別 HIV 検査経験の有無

Q8. 各地域で NGO や予防啓発を行う団体が配布する郵送検査キットの利用（図5）

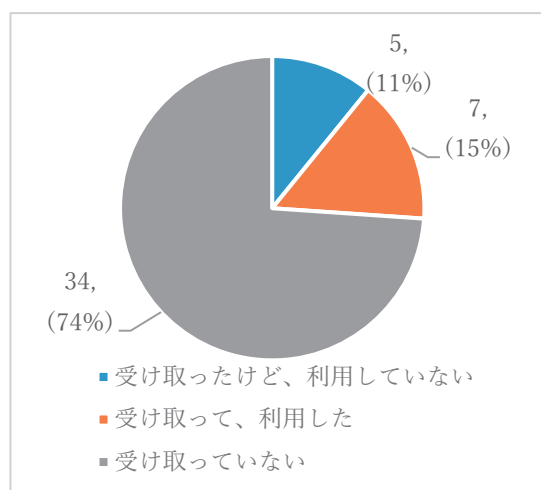


図5 NGO 主導の郵送検査キット利用

NGO 主催の郵送検査イベントに参加したのは全体の26%でそのうち半数近くはキットを受け取ったが利用していなかった。

Q9.PrEPを知っているか (n=46)

とてもよく知っている：8人(17%)、具体的には知らないが、聞いたことはある：35人(76%)、全く知らない：3人(7%)

Q10.PrEPを服用したいと思うか (n=46)

(図6)

39人(84%)の回答者がPrEPに関して関心を示した。また、5人(10%)は過去6ヶ月以内にPrEPを服用したと回答した。

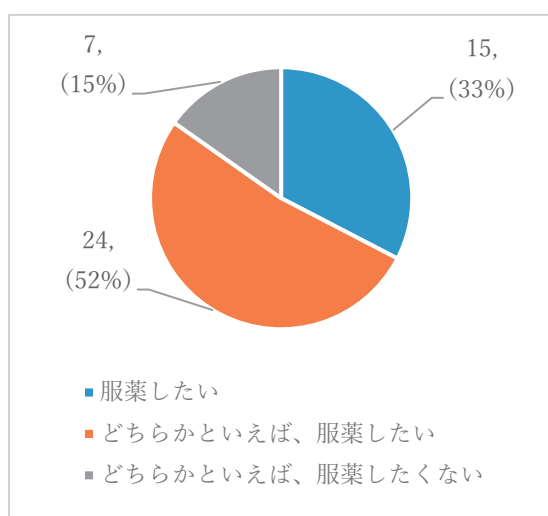


図6 PrEP服用希望の有無

Q10.過去6ヶ月間のセックスの有無 (n=46)

有：46人(100%)であった。

Q11.過去6ヶ月間のセックス相手の属性 (n=46)

友達やセクフレ：27人(58%)、その場限りの相手：15人(32%)、彼氏や恋人：4人(10%)であった。

Q12.過去6ヶ月間に相手にお金を払ってのセックスの有無(n=46)

有：1人(2%)、無：45人(98%)だった。

Q13.過去6ヶ月間に相手にお金をもらってセックスの有無(n=46) (

有：1人(2%)、無：45人(98%)だった。

Q15.過去6ヶ月間のセックスのときにドラッグ(ラッシュ、ゴメオ、MDMA、大麻、覚せい剤、脱法ドラッグ)の使用経験

無：46人(100%)であった。

Q16.性感染症の既往歴(複数回答) (図11)

いずれもない：24人(52%)と最も高かった。次いで、毛じらみ：15人(32%)、梅毒6人(13%)、クラミジア感染症4人(9%)、尖圭コンジローマ：4人(9%)であった。

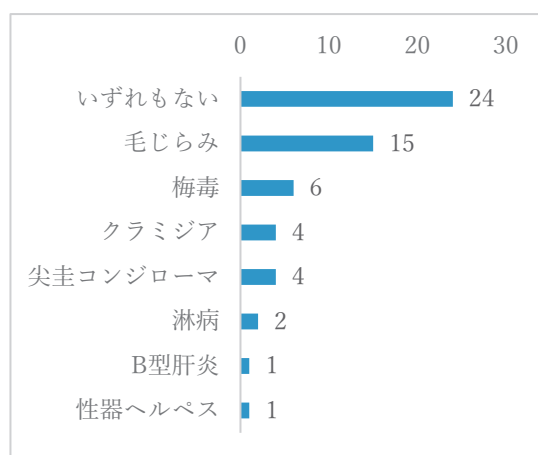


図11 性感染症の既往歴

Q17.過去6ヶ月間に使用した施設の属性(複数回答)

ゲイバー：21人、有料のハッテン場：16人、野外のハッテン場：13人、いずれもない：13人、ゲイイベント：12人であった。

Q18.過去6ヶ月間にセックスする相手を探すために使用したSNSや掲示板の属性(複数回答) (図12)

39 名 (84%) の回答者が特定のゲイ向けアプリと回答した。

Q19. 男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っているか？

よく知っている：5 人 (11%)、少し知っている：21 人 (46%)、あまり知らない：13 人 (28%)、全く知らない：7 人 (15%) であった。

D. 考察

表 1 に示したように今回のクリニック検査では 30～40 代の参加者が最も多かった。その一方で 20 歳代や 50 歳代の受検者は少なかった。県内ではこれらの年代でも新規 HIV 陽性者が例年報告されていることから、若年者層及び壮年層への検査アクセスの向上が必要だと示唆された。また、検査受付 46 人に対して実際に検査を受けたのは 26 人 (56%) に留まった。受付に対する実際の検査受検数の乖離に関して詳細な解析は困難だが、一部の参加者からは COVID-19 罹患のため受検できなかったとのフィードバックが寄せられた。

令和 3 年度の調査と同様に、受検者の居住地は本島中南部地域を中心としていた。検査希望医療機関を選択するにあたっては、交通の利便性が最も重要視されていることが明らかになった。多くの MSM が居住していると考えられる本島中南部に HIV 検査外来を担う民間医療機関を配置することが重要であると考えられた。

今回、初めて HIV 検査を受けたと回答したのは全体の 11% 程度に留まった。医療機関などでの対面検査にアクセスできない

グループが県内に存在するのか本研究では明らかにできないが、図 4、図 5 に示すように郵送検査のニーズが一定の割合で認められるため、これらの検査法を駆使した取り組みが必要であると考えられた。

PrEP への関心は高く 39 人 (84%) が PrEP 服用を検討すると回答した。実際に 5 人 (10%) は過去 6 ヶ月以内の PrEP 使用を認めている。PrEP 導入が定期的な HIV 検査受検の動機になると考えられるため、PrEP に対する正確な情報提供の中に HIV 検査の重要性について言及するべきであると考えられた。

既存のゲイ商業施設に加え、特定のゲイ向けアプリを中心とする SNS へのアクセスが多いことが今回の調査で明らかになった。これらの媒体とコミュニティセンターが協同していくことが重要であると考えられた。

E. 結論

民間医療機関での対面型 HIV 検査は、コロナ禍における保健所の代替として需要があることが示された。MSM が多く居住すると考えられる本島中南部を中心として民間医療機関との連携を今後も継続するために、行政の支援が不可欠と考えられた。

対面検査では検査受検できないグループに対して郵送検査など新たな手段を用いてのアプローチが必要であると考えられた。また、PrEP に関する正確な情報提供や見守り体制の構築も課題であると考えられた。

倫理審査

本研究は琉球大学「人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」より承認された (2022 年 1 月-) 学内研第 459 号

参考文献

- 1) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「MSM に対する有効な HIV 検査提供とハイリスク層への介入に関する研究」令和 3 年総括・分担研究報告書

F.研究発表

1.論文発表

- 1) Collins S, Namiba A, Sparrowhawk A, Strachan S, Thompson M, Nakamura H. Late diagnosis of HIV in 2022: Why so little change? HIV Med. 2022 Dec;23(11):1118-1126.

研究Ⅱ：郵送検査の促進に関する研究

A.研究目的と背景

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるということがいわれている。保健所の HIV 検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和 2 年 2 月からの新型コロナウイルス拡大に伴い、保健所での検査提供は 7 割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。

そこで、沖縄地域の MSM を対象に、自己採血により検体を送付しスクリーニング検査を受ける郵送検査をコミュニティセンターでの配布と WEB にて配布を行った。

MSM が利用しやすい HIV・梅毒の検査の選択肢を増やし、期間を限定して配布し、検査普及における有効性の評価を行うことを目的とした。

B.研究方法

コミュニティセンターでは、本検査に関する説明事項を含むメッセージを mabui の公式 HP と公式 Twitter 等の SNS で配信した。

また、mabui メンバーをモデルに広報用のポスターを制作した。メッセージとして、「今は外出を控えている！誰にも会わずに検査を受けたい！自宅や郵便局でキットを受け取りたい！そんな方は是非、今回の郵送検査キット配布会をご利用ください。」と twitter 等で広報した。

郵送検査を受け取る方法は、1) 郵送検査キット配布の予約をする(メール・電話、コミュニティセンター mabui での受け取りの場合は予約不要)。2) 簡単な検査の説明を受ける。3) アンケートに答える。4) 郵送検査キットを受け取る。5) 自宅で採血。6) 郵送する。7) 検査会社のホームページにアクセスして結果を見る。の 7 段階とした。

郵送検査キット受け取り希望者はコミュニティセンターに直接来館し、その場でアンケート QR コードを提示し、自分のスマートフォンから答えてもらい、アンケート回答後にコミュニティセンタースタッフが検査に関して説明をして、最後に受け渡す方法をとったものもいたが、今年度は他地域の取り組みを参考に、WEB での配布も行い、自宅または郵便局で受け取れるようにした。

倫理審査

本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

C.研究結果

1) 検査キットの配布日・配布件数

配布期間：2022 年 7 月から 11 月末にかけて実施した。

2) 検体の送付状況とアンケートの結果

総計 210 キットを配布した。アンケートに回答したものは 150 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 153 名であった。そのうち 98.0%が結果にログインしていた。HIV 陽性件数は 3 件、梅毒の陽性件数は 31 件（既感染も含む）であった。検体を郵送したもののうち 25 名はアンケート結果との連結に同意していた。

表 3 郵送検査利用者の概要

	地域	沖縄
	CBO	nankr沖縄
	コミュニティセンター	mabui
a 配布数		210
対面配布数		60
WEB配布数		150
b 受検者アンケート回答者数		38
c 利用者数；郵送検査会社での受付数		153
対面配布数(c対面/a対面)		37 (61.7%)
WEB配布数(cWEB/aWEB)		116 (77.3%)
利用率計；配布数に占める利用者数(c/a)		72.9%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録（割合 d/c）		150 (98.0%)
抗体検査結果		*重複感染（1名）
☐ HIV感染症		
e 判定不能者数（割合 e/c）		1 (0.7%)
f 陽性数（割合 f/c）		3 (2.0%)
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*		3.0 (2.0%)
☐ 梅毒		
g 判定不能者数（割合 g/c）		1 (0.7%)
h 陽性数（割合 h/c）		31 (20.4%)
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*		27.8 (18.3%)
i 追跡可能者数；無料ID使用者数（割合 i/c）		26 (17.0%)
j 事後アンケート回答者数（割合 j/c）		106 (69.3%)
k 追跡可能な事後アンケート回答者数（割合 k/c）		16 (10.5%)

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、（利用者数-判定不能者数）に乗じて求めた。

** すべての集計より再受検の重複は除いた。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつ ID 連結の同意を得た 25 名におい

ては、30 歳未満が 24.0%を占め、沖縄県の居住者が 92.0%であった。生涯初の検査経験割合は 20.0%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 56.0%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 44.0%を占めた。「保健所でなかなか受けられないのでよかった。」「次年度もまた受けたい。」などの反応があった。

D.考察

今年度も新型コロナウイルスの影響が続く、保健所での HIV 検査機会は減少し、定期的に保健所で検査を受けていた人が、郵送検査キットを受け取りに来ることがあった。

郵送検査の受検利用者の回答数は少なく限界があるものの、沖縄県在住者が高く、地域での配布のニーズが示唆された。

E.結論

郵送検査キットを受け付ける場合には、通常郵便局留めもできるが、地方地域では郵便局でも知り合いがいる可能性もあり、断られることもあった。離島や山間部に居住する MSM が行きやすい拠点を県内でいくつか設定する必要もある。

一方で、新規の HIV スクリーニング陽性率 2.0%、梅毒は推定スクリーニング陽性率 18.3%であり、感染リスクの高い層にリーチしていると考えられる。したがって、陽性になった場合の受診行動の促進への取り組みも重要である。

F.研究発表

1.論文発表

- 1) Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, AIDS Care, 2020.DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339
- 2) 金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. 日本エイズ学会誌, 23(2), 2021.
- 3) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. 日本エイズ学会誌, 23(1), 18-25, 2021.
- 4) 金子典代, 塩野徳史: MSM を対象にし

た当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義. 日本エイズ学会誌, 22(3), 136-146, 2020.

2.学会発表 (国内)

- 1) 塩野徳史.日本のセクシュアルヘルスと予防啓発 -社会が担う役割-.日本エイズ学会 2022 年 浜松.
- 2) 塩野徳史. コミュニティにおけるコンドーム使用行動と PrEP 利用. 日本エイズ学会 2022 年 浜松.
- 3) 塩野徳史. コミュニティと予防介入の新たな戦略. 日本エイズ学会 2021 年 東京.
- 4) 塩野徳史. HIV 予防とヘルスリテラシー. 日本エイズ学会 2020 年 千葉.

G.知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

- | | |
|----------|----|
| 1.特許取得 | なし |
| 2.実用新案登録 | なし |
| 3.その他 | なし |

表 4 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 利用者概要

	アンケート			ID使用		ID不使用				合計		Pearson
	回答のみ			対面配布	WEB配布	対面配布		WEB配布				カイ2乗
配布CBO												
nankr沖縄/mabui (沖縄)	12	100.0%		25	100.0%		12	100.0%	115	100.0%	164	100.0%
年齢階級												
29歳以下	4	33.3%		6	24.0%		4	33.3%	36	31.3%	50	30.5%
30-39歳	4	33.3%		7	28.0%		4	33.3%	36	31.3%	51	31.1%
40-49歳	3	25.0%		6	24.0%		4	33.3%	23	20.0%	36	22.0%
50-59歳	1	8.3%		6	24.0%		0	0.0%	17	14.8%	24	14.6%
60歳以上	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	3	2.6%	3	1.8%
合計	12	100.0%		25	100.0%		12	100.0%	115	100.0%	164	100.0%
性別												
男性	12	100.0%		25	100.0%		12	100.0%	115	100.0%	164	100.0%
女性	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
トランスジェンダー	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	12	100.0%		25	100.0%		12	100.0%	115	100.0%	164	100.0%
居住地												
北海道	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	1	1.2%	1	0.8%
東北	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	4	4.8%	4	3.1%
北関東	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
東京	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	7	8.3%	7	5.5%
南関東	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
甲信越	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
北陸	0	0.0%		1	4.0%		0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%
東海	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
近畿	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	1	1.2%	1	0.8%
中国	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	6	7.1%	6	4.7%
四国	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	1	1.2%	1	0.8%
九州	0	0.0%		1	4.0%		0	0.0%	19	22.6%	20	15.7%
沖縄	12	100.0%		23	92.0%		6	100.0%	41	48.8%	82	64.6%
不明	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	4	4.8%	4	3.1%
合計	12	100.0%		25	100.0%		6	100.0%	84	100.0%	127	100.0%
セクシュアリティ												
ゲイ (男性同性愛)	11	91.7%		18	72.0%		4	66.7%	63	75.0%	96	75.6%
バイセクシュアル	1	8.3%		7	28.0%		1	16.7%	14	16.7%	23	18.1%
その他	0	0.0%		0	0.0%		1	16.7%	7	8.3%	8	6.3%
合計	12	100.0%		25	100.0%		6	100.0%	84	100.0%	127	100.0%

表5 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者属性

	アンケート				ID使用		ID不使用		合計		Pearson カイ2乗
	回答のみ				対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布	n=37		
	n=12		n=25								
国籍											
	日本	12	100.0%	25	100.0%					37	100.0%
	アジア	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%
	欧米	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%
あなたが住まいの地域はどのような地域ですか？（年度により質問対象を変更したため、総数と異なる）											
	中心市街地	7	58.3%	9	36.0%					16	43.2% 0.10
	郊外住宅地	3	25.0%	15	60.0%					18	48.6%
	農村地域・漁村地域	2	16.7%	1	4.0%					3	8.1%
	山間部	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%
	離島	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%
居住形態											
	独居	7	58.3%	13	52.0%					20	54.1% 0.72
	同居	5	41.7%	12	48.0%					17	45.9%
	定住先はない	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？											
	ある	8	66.7%	20	80.0%					28	75.7% 0.43
	ない（今回が初めての検査）	4	33.3%	5	20.0%					9	24.3%
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？											
	ある	4	33.3%	11	44.0%					15	40.5% 0.72
	ない	8	66.7%	14	56.0%					22	59.5%
過去1年の受検場所（複数回答）											
	保健所	1	8.3%	0	0.0%					1	2.7% 0.33
	病院/クリニック	3	25.0%	4	16.0%					7	18.9% 0.49
	郵送検査	2	16.7%	9	36.0%					11	29.7% 0.53
	その他	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0% 0.66
	1年間にない	4	33.3%	9	36.0%					13	35.1%
	これまでにない	4	33.3%	5	20.0%					9	24.3%
過去1年間に、各地域でNGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか？											
	受け取っていない	10	83.3%	16	64.0%					26	70.3% 0.28
	受け取ったけど、利用していない	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%
	受け取って、利用した	2	16.7%	9	36.0%					11	29.7%
過去6ヵ月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）											
	ゲイバー	3	25.0%	7	28.0%					10	27.0% 1.00
	ゲイイベント	1	8.3%	2	8.0%					3	8.1% 1.00
	ゲイショップ	0	0.0%	1	4.0%					1	2.7% 1.00
	有料のハッテン場	5	41.7%	10	40.0%					15	40.5% 1.00
	野外のハッテン場	1	8.3%	8	32.0%					9	24.3% 0.22
	いずれもない	6	50.0%	10	40.0%					16	43.2% 0.73
過去6ヵ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために、以下のSNSや掲示板を利用しましたか？（複数回答）											
	Twitter	3	25.0%	6	24.0%					9	24.3% 1.00
	Instagram	1	8.3%	2	8.0%					3	8.1% 1.00
	VERO	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%
	9monsters	11	91.7%	21	84.0%					32	86.5% 1.00
	Men's Net Japan	0	0.0%	1	4.0%					1	2.7% 1.00
	KO-MENSTV	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%
	その他	0	0.0%	4	16.0%					4	10.8% 0.28
	いずれもない	1	8.3%	2	8.0%					3	8.1% 1.00
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか？											
	よく知っている	4	33.3%	3	12.0%					7	18.9% 0.03
	少し知っている	1	8.3%	11	44.0%					12	32.4%
	あまり知らない	3	25.0%	9	36.0%					12	32.4%
	全く知らない	4	33.3%	2	8.0%					6	16.2%
過去6ヵ月間に男性とセックスをしたことがありますか？											
	ある	8	66.7%	24	96.0%					32	86.5% 0.03
	ない	4	33.3%	1	4.0%					5	13.5%

表6 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動・予防行動

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計		Pearson カイ2乗
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布	n=32		
	n=8		n=24						
過去6か月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）									
彼氏や恋人	0	0.0%	5	20.8%			5	15.6%	0.30
友達やセクフレ	7	87.5%	11	45.8%			18	56.3%	0.05
その場限りの相手	4	50.0%	17	70.8%			21	65.6%	0.40
その他	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
過去6か月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか？									
ある	8	100.0%	20	83.3%			28	87.5%	0.55
ない	0	0.0%	4	16.7%			4	12.5%	
過去6か月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか？									
ある	4	50.0%	11	45.8%			15	46.9%	1.00
ない	4	50.0%	13	54.2%			17	53.1%	
過去6か月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか？									
ある	2	25.0%	6	25.0%			8	25.0%	1.00
ない	6	75.0%	18	75.0%			24	75.0%	
過去6か月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？									
ある	0	0.0%	2	8.3%			2	6.3%	1.00
ない	8	100.0%	22	91.7%			30	93.8%	
過去6か月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか？									
ある	1	12.5%	1	4.2%			2	6.3%	0.44
ない	7	87.5%	23	95.8%			30	93.8%	
過去6か月間に、セックスのときにドラッグ（ラッシュ、ゴメオ、MDMA、大麻、覚せい剤、脱法ドラッグ）を使用したことがありますか？									
ある	0	0.0%	1	4.2%			1	3.1%	1.00
ない	8	100.0%	23	95.8%			31	96.9%	
過去6か月間のコンドーム使用状況									
非常用	8	100.0%	21	87.5%			29	90.6%	0.56
常用	0	0.0%	3	12.5%			3	9.4%	

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計		Pearson カイ2乗
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布	n=37		
	n=12		n=25						
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」について知っていますか？									
とてもよく知っている	4	33.3%	3	12.0%			7	18.9%	0.03
聞いたことはある	5	41.7%	21	84.0%			26	70.3%	
まったく知らない	3	25.0%	1	4.0%			4	10.8%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」を服薬したいと思いますか？									
服薬したくない/どちらかといえば	4	33.3%	5	20.0%			9	24.3%	0.43
服薬したい/どちらかといえば	8	66.7%	20	80.0%			28	75.7%	
HIV陽性/無効	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
過去6か月間に「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」を服薬したことがありますか？									
ない	10	83.3%	23	92.0%			33	89.2%	0.58
ある	2	16.7%	2	8.0%			4	10.8%	
HIV陽性/無効	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
これまでにかかったことがある性感染症はありますか？（複数回答）									
梅毒	2	16.7%	3	12.0%			5	13.5%	1.00
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
B型肝炎	0	0.0%	2	8.0%			2	5.4%	1.00
C型肝炎	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
クラミジア	2	16.7%	4	16.0%			6	16.2%	1.00
尖圭コンジローマ	0	0.0%	1	4.0%			1	2.7%	1.00
淋病	0	0.0%	3	12.0%			3	8.1%	0.54
HIV感染症	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
赤痢アメーバ	0	0.0%	1	4.0%			1	2.7%	1.00
毛じらみ	2	16.7%	7	28.0%			9	24.3%	0.69
性器ヘルペス	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
いずれもない	7	58.3%	12	48.0%			19	51.4%	0.73

表 7 郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別 事後アンケートの結果

アンケート 回答のみ	ID使用		ID不使用				合計		Pearson カイ2乗
	対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布		n=105			
	n=15		n=6	n=84					
事後アンケート この検査キットをどこで受け取りましたか？（R5年度）									
コミュニティセンターで	8	53.3%	3	50.0%	4	4.8%	15	14.3%	<0.01
デジタル・ディスペンサーで	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
検査キット配布会場で	5	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	5	4.8%	
インターネットのWEBページで	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
商業施設・ゲイ向けイベント等で	2	13.3%	2	33.3%	71	84.5%	75	71.4%	
その他	0	0.0%	1	16.7%	8	9.5%	9	8.6%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	1	1.0%	
事後アンケート 郵送検査キットをこれまでに何回利用したことがありますか？（R5年度）									
今回がはじめて	8	53.3%	3	50.0%	45	53.6%	56	53.3%	0.99
何度か利用した	7	46.7%	3	50.0%	38	45.2%	48	45.7%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	1	1.0%	
事後アンケート 指先からの採血は簡単でしたか？									
簡単だった	12	80.0%	5	83.3%	75	89.3%	92	87.6%	0.65
どちらでもない	1	6.7%	0	0.0%	5	6.0%	6	5.7%	
難しかった	2	13.3%	1	16.7%	3	3.6%	6	5.7%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	1	1.0%	
事後アンケート 今回、ゆうそう検査を使ってみていかがですか？理由も教えてください。（R5年度）									
とても満足している	14	93.3%	4	66.7%	58	69.0%	76	72.4%	0.36
まあ満足している	1	6.7%	2	33.3%	22	26.2%	25	23.8%	
あまり満足していない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
全く満足していない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	4	4.8%	4	3.8%	
事後アンケート 仮に、今回の検査でHIV抗体検査の結果が「要確認」となった場合、あなたはどうしますか？									
保健所を利用	9	60.0%	5	83.3%	47	56.0%	61	58.1%	0.64
公的な検査機関を利用	1	6.7%	0	0.0%	4	4.8%	5	4.8%	
クリニックを利用	7	46.7%	1	16.7%	34	40.5%	42	40.0%	
何もしない	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	1	1.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	3	3.6%	3	2.9%	

参考資料：MSM ALL JAPAN.ミーティング（研究班班会議）

沖縄地域MSMを対象 とした予防啓発活動

nankr沖縄 玉城

日時：3月4日（土）13:00～18:00
3月5日（日）09:30～17:00
場所：東京都新宿区新宿 4-3-25 TOKYU REIT
新宿ビル7階 コンフォート新宿

1

地域の商業施設数と連携数

2021年11月12日時点

	地域の店舗数	連携店舗数	連携率 (カバー率)
ゲイバー	34	33	(MIX店抜き、まだ声をかけていない店舗あり)
有料ハッテン場	3	3	100
ゲイナイト	5	5	-
ウリ専	?	2	-
ゲイショップ	0	0	-
サウナ・ホテル	0	0	-
マッサージ	?	11	-
ゲイ雑誌	0	0	-
スマホアプリ	?	1	-
ウェブサイト	?	1(裏掲示板)	-
ゲイサークル	?	5	-
その他 ()			

2

コミュニティセンターの活動状況

2022年度1月まで

運営スタッフ数	：常勤	1人
	非常勤	5人、ボランティア 5人くらい
開館曜日	：木曜日～日曜日	
開館時間	：木曜日、金曜日	18:00～22:00
	土曜日	17:00～22:00
	日曜日	15:00～21:00
	※ただし、実施プログラムの内容により随時開館した。	
総来場者数*	：959名（前年度比 127%）	
初来場者数*	：52名（前年度比 164%）	
相談件数*	：34件（うち、セクシュアルヘルスに関する相談 21件）	
	*2017年4月～2018年3月まで	

3

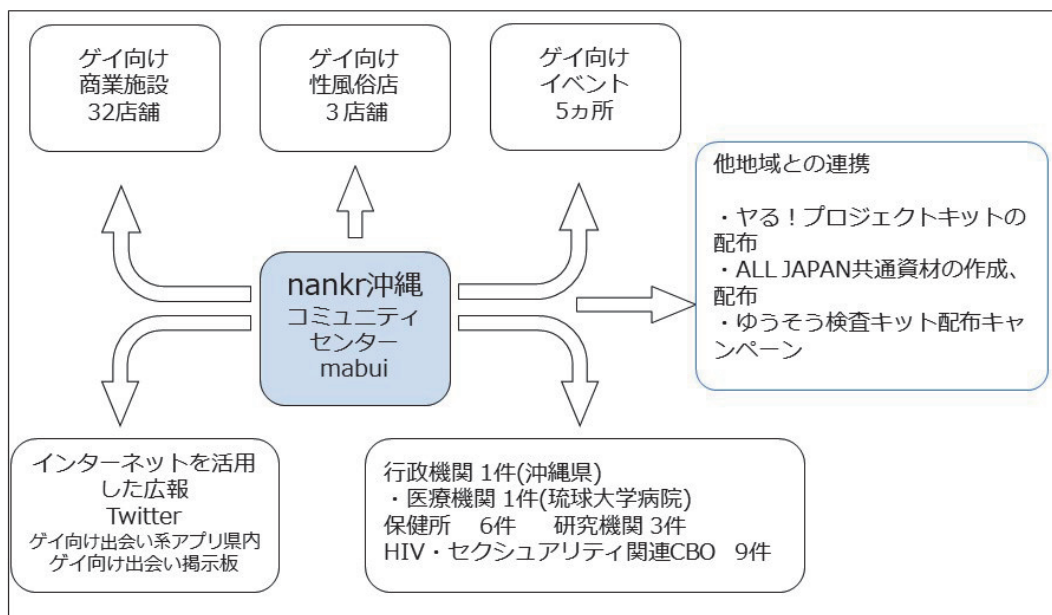
コミュニティセンターの活動状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2022年度1月まで 合計
来場者数	53	67	64	102	91	96	117	122	139	108			959
新規来場者数	0	1	3	0	1	5	4	7	21	9			51
相談件数	3	1	2	4	2	1	8	3	6	4			34

- ・秋ごろからクラブイベントの練習でパフォーマーさんの貸し出しスペースの利用が増えた。
- ・24歳以下カレーパーティー以降、若年層の利用も増えた。
- ・PEPも関する問い合わせがあり、琉球大学病院につないだ。

4

普及啓発活動の状況



nankr
-okinawa-

コミュニティペーパーの作成

プログラムの目的・必要性：MSMの関心のあるテーマを特集とし、商業施設利用者等に対し、沖縄県におけるHIV・エイズを中心とした性感染症の状況や新知識、保健所の検査情報を手にとりやすい形で提供する。

対象となる人や施設：沖縄県内に在住または観光に来ているMSM

予算：コミュニティセンター事業費

実施内容（資材）：保健所の検査情報やHIVに関する情報を掲載し、発行する。

結果：
実施日時）
参加者数 or 配布数oアクセス数）2000部
実施した反応）

オリジナルパッケージコンドームの作成

プログラムの目的・必要性：沖縄県内のMSMは実家暮らしが多いため、なかなかゲイ的要素の多いパッケージは持ち帰りづらく、また県外からのMSMが観光などで多く訪れることからその方たちにもお土産感覚で持ち帰るように沖縄の風景画像をパッケージデザインとして配布を行った。

対象となる人や施設：沖縄県内MSM向け商業施設
予算：コミュニティセンター事業費

実施内容（資材展開）：沖縄県内の風景画をパッケージにオリジナルコンドームを作成し、配布した。

結果：

実施日時）

参加者数 or 配布数oアクセス数)2000個

実施した反応)

7

オリジナルパッケージコンドーム作成(県事業)

プログラムの目的・必要性：事業費のコンドームとは趣向を変え、県内で活動するMSMのイラストレーターにイラストを依頼し、オリジナルパッケージのコンドームを制作した。

対象となる人や施設：MSM向け商業施設
予算：地方行政事業費

実施内容（資材展開）：

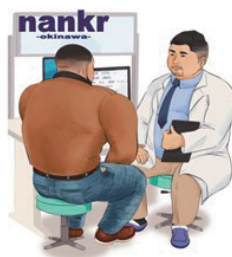
- ・ 0.03mmの薄いコンドームを使用した。
- ・ 医療機関の情報のコンドームと保健所の情報のコンドームを2種類制作した。

結果：

実施日時）

参加者数 or 配布数oアクセス数) 1650個
実施した反応)

・ イラストがかわいいとの声や、
普段より薄めのコンドームのため
商業施設で話題となった。



コンドームアウトリーチ

プログラムの目的・必要性：沖縄地域におけるゲイ向け商業施設利用者に向けて、センターの周知とHIV感染症・エイズに関する啓発活動の可視化を目的として、当事者参加型の資材配布活動を行う。

対象となる人や施設：沖縄県内MSM向け商業施設

予算：コミュニティセンター事業費



実施内容（資材）：

- ・月に1回程度、県内MSM商業施設に配布している(離島は郵送をしている)
- ・コンドームを商業施設で設置することで、身近に感じてもらうことや性感染症について話題が出ることによりコミュニティのHIVへの関心が高まることを目的としている。



結果：

実施日時) 月に1回程度

参加者数 or 配布数oアクセス数) 11,079個

実施した反応)

9

やる！プロセットの配布

プログラムの目的・必要性：若年層MSMやクラブイベント利用者へ向けたセーフセックス（コンドーム使用）の促進

対象となる人や施設：・「やる！プロ」セットを、沖縄県内で開催されるMSM出会いイベント参加者およびゲイバーで配布。

予算：



実施内容（資材展開）：県内クラブイベントのエントランスやアウトリーチ時のMSM向け商業施設で配布。ビーチパーティーではブースを出展して配布した。



結果：

実施日時) ・5/14 PIERROT OKINAWA 200個

・7/9沖縄ルネッサンス 200個 ・7/10沖縄ルネッサンスビーチパーティー

・9/10 EROS 150個 ・11/5 ZuMI!! Sunset party 50個 ・MSM向け商業施設 40個

参加者数 or 配布数oアクセス数)

実施した反応) 同封したサイズ別のコンドームがクラブイベントやゲイバーでもポケットに入り持ち運びやすいと好評だった。

クイーンさんが手配して宮古島のイベントに持って行ってくれた。

10

展示

プログラムの目的・必要性：展示会を行うことでHIV・エイズに関心のない層にセンターの周知を行うとともに、新規来場者の獲得を狙う。

対象となる人や施設：沖縄県内在住または観光に来ているMSM

予算：コミュニティセンター事業費 / 寄付金その他の投入資源：



実施内容：県内の芸術大学に通う学生が県立美術館で展示した卒業作品の展示を行った。



結果：

実施日時) 2/23(木)～

参加者数 or 配布数oアクセス数)

実施した反応)

11



12

メイクワン

プログラムの目的・必要性：HIV感染症、エイズに関心のない層に対して、料理や雑貨等のものづくりイベントを行い、センターの周知及び来館者を促進する目的で実施するまた、来場したMSMが性の情報に触れる機会をつくる。
対象となる人や施設：県内在住または観光に来ているMSM
予算：コミュニティセンター事業費/ 寄付金

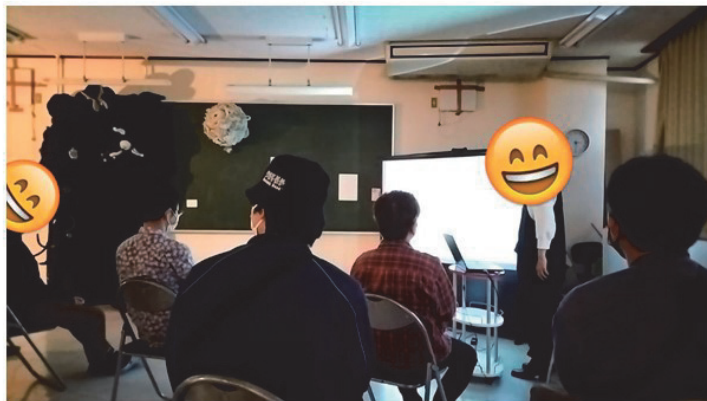


実施内容：県内の芸術大学に通う学生を講師に呼び、入学した経緯や作品の変遷について解説をしてもらい、その後実際の編み物のものづくりを行った。



結果：
実施日時) 2/25(土)16:00-18:30
参加者数 or 配布数oアクセス数) 12名
実施した反応) ・「入場しやすい雰囲気でのまま続けてほしい」「普段触れない芸術を知ることができて新しい知見が広がった」などの声があった。

13



mabuiパーティー

プログラムの目的・必要性：HIV感染症、エイズに関心のない層に対して、キーパーソンや季節のイベントをテーマとしてパーティーを行い、センターの周知および初来館者を促進する目的で実施する。来場したMSMが性の健康の情報に触れる機会をつくる。

対象となる人や施設：県内在住または観光に来ているMSM

予算：コミュニティセンター事業費 / 寄付金

実施内容（WEB展開）：①鍋パーティーを開催。②高校生の子の歓迎鍋パーティーを開催。若年層向けのイベントの開催の要望が出て、twitterで呼びかけ。②若年層MSMとSNSで関係を築いているスタッフが、若年層のキーパーソン等に声掛けを行い、要望などを取りまとめ、24歳以下若年MSMの交流イベントを実施した。③スタッフや来館者のドリンクやケーキの提供を受け、クリスマスイベントを行った。

結果：実施日時）①令和4年10月25日(火)21:00～22:00
②令和4年11月26日(土)14:00～17:00
③令和4年12月11日(日)18:00～21:00
④令和4年12月24日(土) 18:00～22:00

参加者数 or 配布数oアクセス数)

①参加者 7名 ①参加者8名 ②参加者：18人 ③参加者：12名

実施した反応)

①初来場者 0名 ①初来場者1名 ②初来場者11名 ③初来館者2名

15



16

同性愛者等を対象としたHIV感染症・エイズ、 セクシュアルヘルス等に関する勉強会等

プログラムの目的・必要性：ゲイの興味のあることとHIVを関連付けての勉強会を行うことで、HIVに関心のない層へのアプローチを行う。
対象となる人や施設：沖縄県内在住または観光に来ているMSM
予算：コミュニティセンター事業費



実施内容：HIV陽性になったあとに受けられる制度についてまとめ、情報提供を行った。



結果：
実施日時）令和4年9月25日（日）18:00～21:00
参加者数 or 配布数oアクセス数）8名
実施した反応）陽性になった後のイメージができてよかった。お金や治療などいろんな制度が受けられることが分かった。

17

Living Together

プログラムの目的・必要性：Living Together計画が発行している、HIV陽性者やその周囲の人たちによる手記を県内在住MSMに朗読してもらうとともに、なぜその手記を選んだのかなど、自分が感じているHIV感染症・エイズについて話をしてもらう。また、陽性者の存在を可視化し、リアリティを伝えて、受検行動と予防行動を促進した。
対象となる人や施設：コミュニティセンターmabui
予算：コミュニティセンター事業費



実施内容：コミュニティセンターmabuiにて行った。



結果：
実施日時）令和4年12月24日（土）
参加者数 or 配布数oアクセス数）11名
実施した反応）・自分に近い手記だったので共感できた。
・検査で自分の状況を知ることが大切だと思った。

18

成果報告会

新規
継続：〇年から

プログラムの目的・必要性：センターを利用して実施したプログラム及び調査研究等の結果をゲイコミュニティ等に還元し、課題を共有する。
対象となる人や施設：コミュニティセンターmabui
予算：コミュニティセンター事業費



実施内容：コミュニティセンターmabuiにて行った。



結果：
実施日時）令和4年12月24日（土）
参加者数 or 配布数oアクセス数）13名
実施した反応）・普段mabuiによくいるけど活動についてあまりしなかったのので聞けて良かった。



19

郵送検査キット配布会

プログラムの目的・必要性：新型コロナウイルス感染症による県内保健所の検査業務の縮小や、保健所での検査のハードルが高く受けにくいという声から、MSMのHIV検査機会の拡充を目的として郵送検査キットの配布会を行った。
・自宅又は郵便局で受け取れるようにした。
対象となる人や施設：県内在住MSM
予算：コミュニティセンター事業費 / 事業費
その他の投入資源：



実施内容（資材・WEB展開）：コミュニティセンターmabuiでの対面配布と郵送受け取りの2種類をメインに配布した。また、沖縄市男女共同参画センターを使い、沖縄県中部地域での対面配布会も行った。



結果：
実施日時）
参加者数 or 配布数oアクセス数）・検体受付153件
・HIV 3名(2%)・TP 31名(既往含む)(20.4%)
実施した反応）保健所でなかなか受けられないのでよかった。
次年度もまた受けたい。

20

2022 年 **沖縄** =MENONLY

えらべる 2 つの **HIV 検査**

クリニック 1000 円検査
7/4(月)～7/30(土)

5 つのクリニックで受けられます！

- ・アドベンチストメディカルセンター
- ・名嘉病院
- ・クリニックおもろまち
- ・なしろハルンクリニック
- ・中部徳洲会病院

・医療機関だから安心！・採血も安心して任せられる！
※中部徳洲会病院のみ匿名検査ができません。
※予約が埋まり次第、締め切る場合があります。

えらべるふたつの検査、予約はこちら

ゆうそう検査キット
7月1日(金)～10月30日(日)

- ・自宅または郵便局で受け取れる！
- ・キットの受け取りから結果確認まで
ネットで簡単にできる！
- ・無料・匿名

※なくなり次第配布を中止します。

nankr 琉球大学病院

まもなく終了

予約はコチラ

クリニックで **7/30(土)まで**

沖縄 1000 円 HIV 検査

MEN ONLY

5 つのクリニックで受けられます

- ・アドベンチストメディカルセンター
- ・名嘉病院
- ・クリニックおもろまち
- ・なしろハルンクリニック
- ・中部徳洲会病院

※中部徳洲会病院のみ匿名検査できません。
※予約が埋まり次第、締め切る場合があります。

nankr 琉球大学病院

肌色多めで目につきやすいように！



1000円クリニック検査キャンペーン

プログラムの目的・必要性：沖縄在住のmsmの受検では、保健所に知り合いがいるなどして行きにくい現状がある。早期に受検につなげるためにも、行きやすい検査機会を増やす必要がある。そこで、特にこれまで保健所に行きにくい人が検査を受けられる環境をつくり、早期に感染がわかり、治療にむすびつけることで、沖縄在住のmsmのセクシュアルヘルスの向上を目指すことを目的とした。

対象となる人や施設：沖縄県内在住または観光で来ているMSM

予算：研究費、センター事業費

実施内容（資材・WEB展開）：県内協力医療機関、琉球大学大学院医学研究科・琉球大学病院と協働で、県内協力医療機関でのMSM向け1000円検査会を行った。MSM向けマッチングアプリでのバナー広報を行うとともにポスターとフライヤーを制作し、MSM向け商業施設にて配布を行った。

結果：

実施日時）①令和5年10月1日～令和5年10月31日
②令和5年11月15日～令和5年12月15日

参加者数 or 配布数oアクセス数)

実施した反応）・お医者さんがいることで安心感がある。
・保健所で検査が受けられなかったのがよかった

22

梅毒啓発ポスター

プログラムの目的・必要性：沖縄県内で梅毒の発見率が2年連続過去最多の状況のなかで、検査行動を促すバナーを作成し、MSM向けマッチングアプリやTwitterにて掲載した。
対象となる人や施設：沖縄県内在住MSM
予算：地方行政事業費

実施内容（WEB）：沖縄県内で活躍するドラグクイーンさんに初めてモデルを依頼し、バナーを制作した。

結果：
実施日時）2/18(土)～2/28(火)
参加者数 or 配布数 or アクセス数)
実施した反応）・ドラグクイーンさんたちがInstagramでアピールしてくれたこともあり、「雑だけどセンスある(笑)」「ダサすぎて逆に話題になったわ(笑)」とSNSで反響があった。

24



(初版)



(修正版)

25